

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和6年12月26日

施設名	歴史民俗資料館	所管課	文化生活部歴史文化財課
-----	---------	-----	-------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県文化財団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設所在地	南国市岡豊町八幡1099-1		
事業内容	・高知県の歴史、考古及び民俗(以下「歴史民俗等」という。)に関する資料の収集、保管及び展示 ・歴史民俗等に関する専門的な調査研究 ・歴史民俗等に関する講演会、講座、研究会等の教育普及活動 ・高知県における文化財の保存、活用の推進 ・上記のほか、歴史民俗資料館の設置の目的を達成するために必要な業務		
施設内容	〈建物〉延床面積4527.47㎡ RC造地上3階建 〈土地〉124,520㎡ 〈主要施設〉常設展示室、企画展示室、体験学習室、多目的ホール、岡豊山歴史公園、収蔵庫、燻蒸室、研究室、会議室、資料室など 〈開館時間〉午前9時～午後5時 〈休館日〉12月27日～1月1日 〈主な料金〉通常展 一般470円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料 施設利用料 企画展示室24,590円(1日) 多目的ホール15,700円		
職員体制	常勤職員: 10人 契約職員: 10人 合計: 20人		

※職員数は令和5年4月1日現在

2 収支の状況

単位:千円

		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
収入	県支出金	176,060	178,082	236,635
	事業収入	10,302	4,123	8,144
	その他	7,075	4,128	
	収入計(a)	193,437	186,333	244,779
支出	事業費	190,242	186,333	244,779
	(うち人件費)	(84,651)	(82,894)	(96,986)
	その他			
	支出計(b)	190,242	186,333	244,779
収支差額(a)-(b)		3,196	0	0

3 利用状況

	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	前年度比
① 年間利用者数 合計 (単位:人)	27,764人	9,712人	- 18,052人
＜利用実績＞ 令和5年9月19日から令和6年3月28日までの間、設備改修等の工事に伴い、臨時休館としており、企画展も2回開催にとどまったため、昨年度と比べて年間利用者数が大幅減となった。 (観覧者目標:15,000人、達成率:約64.7%)。			

② 利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) ・ 時期:年間 ・ 方法:アンケート用紙を受付及び展示室入口に配置 ・ 回答数:519 約88%が「大変満足」または「良かった」の回答 (令和5年4月1日から令和6年3月31日(令和5年9月19日から令和6年3月28日の休館期間を除く)までの集計結果から) ・ 調査結果公表:『令和5年度高知県立歴史民俗資料館年報』において公表
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 ・ 来館者が容易に受付や目的の場所にたどり着くことができるよう、館内サイン等の見直しを行った。 ・ ミュージアムショップのグッズコーナーの陳列棚をより見やすく、手に取りやすいものに更新した。 ・ グッズの収納等の場所を確保するため、活用されていない柱と柱の間のスペースを利用して収納キャビネットを新設した。 ・ 老朽化していた「休息室・体験学習室のスツール・椅子」を更新した。 ・ イベント等の開催の際に来館記念となるフオトスポット用パネルを作成し、設置した。 ・ 館内ミュージアムトークやウォーキング企画において、参加者がガイド等の説明を聞き取ることができるよう、ガイドシステムを導入した。雨天時に滑りやすくなる公園内のスロープや階段などに注意喚起の掲示を追加するとともに、老朽化した掲示を新しいものと交換した。
	○ その他
③ その他特記事項	

4 年度業務評価

項 目		状 況 説 明
①適正な管理運営の確保		・ 建物・設備の管理については、点検作業を行い、設備の不具合等の早期発見する等、適切な管理運営が遂行されたと認められる。 ・ 風水害等の配備基準及び職員体制を定め、台風時は委託業者や職員による点検を実施する等、適切な組織管理体制が図られている。
②利用者サービスの維持向上		・ 来館者アンケートの実施や、定例会等の自己点検により、利用者サービスの維持向上、改善に努めている。 ・ 各種研修会に参加するなど、職員の専門性の向上により、展示環境改善に向けた努力が認められる。
③利用実績		・ 令和5年9月19日から令和6年3月28日までの間、設備改修等の工事に伴い、臨時休館としており、企画展も2回開催にとどまったため、昨年度と比べて年間利用者数が大幅減となった。 ・ 歴史公園への来園者及び館外活動等利用者について、岡豊山歴史公園を活用したイベントを実施したことにより目標を上回った。(目標15,000人、来園者実績16,784人)
④収支の状況		・ ミュージアムショップの商品販売や、外部委員への就任・執筆等に積極的に対応し、また、電気の使用量削減を行うなど、工夫を凝らした取組の努力が認められる。
総合評価	A	・ 臨時休館中の期間においても、イベントを実施する等、目標値を超える来園者数を達成するなど努力が見られた。 ・ 岡豊城跡・長宗我部ゆかりの地という土地柄を活かしたイベントを開催し、地域の活性化や観光面に貢献したことは評価できる。 ・ 調査・研究において、広報誌での研究成果の公表に加えて、収蔵資料のデータベース化を進めていることは評価できる。 ・ 教育普及関係では、従来のワクワクワークや職場体験などに加え、講演会や講座などを通じて、県民へ郷土の歴史や文化に親しむ機会の提供ができた。 ・ ホームページを全面リニューアルし、画像中心の情報発信に変えて入館者数増を図っている。 ・ 施設管理面において、適宜点検作業等を行い、設備の不具合の早期発見に努めるとともに必要な修繕につなげるなど、適切に管理されている。

- 【評価の目安】
- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの